

様式第3号

東山小学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和5年度第2回東山小学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和5年11月24日（金）午前11時15分から午後0時30分まで
- 3 開催場所 東山小学校多目的教室
- 4 出席者
  - (1) 委員 高橋勝男委員（会長）、安東正利委員（副会長）  
松山晃太郎委員（副会長）、吉田美和子委員、細川節郎委員  
佐藤美枝委員、藤原洋委員、金里徹委員
  - ※ 欠席 村上友善委員
  - (2) 事務局 金野敬之東山小学校副校長
- 5 議題
  - (1) 令和5年度これまでの学校経営について
  - (2) 諸調査の結果について
  - (3) 第3回PTA地区懇談会（兼 学校運営支援協議会懇談会）の開催について
  - (4) その他
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人
- 8 金里徹東山小学校長挨拶

ご多用の中ご出席いただき、感謝申し上げます。今年度第2回の学校運営支援協議会となる。現在、学校全体としては落ち着いているが課題もたくさんある。忌憚のないご意見を頂戴したい。

9 議事内容

- (1) 令和5年度これまでの学校運営について

資料に基づき、小学校長から成果と課題の説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 問題行動のポケモンカードの転売については、店への転売かそれとも児童間での転売か。

委員（小学校長） 店舗への転売である。保護者は、盗難したものとは知らずに転売を許可していた。

委員 児童クラブで長期休みに起こった事例である。現在は、ポケモンカードを持ってこないルールになった。

委員 中学校では、オンラインゲームでの課金が問題となっている。保護者も止められないケースがある。

委員 不登校については、どのような理由や傾向があるか。

委員（小学校長） 理由は様々である。

委員 「先生が怖くて行きたくない」とはどういうことか。

事務局 体罰などではない。社会や家庭の変化で子ども達が厳しい指導に慣れていない点もあると思う。しかし、30人以上の児童をまとめていくためには規律も必要であり、学校としても悩ましいところである。

委員 今の先生は難しい。我々の時代は、学校から連絡があれば親からも叱られた。今は、厳しく指導すると苦情を言う保護者もいると聞く。

委員 我が家では、正しいことは正しい、間違っていることは間違っていると子どもに言っている。そうでない家庭もあるのは事実ではないか。

委員（小学校長） ある統計によると、教職員のメンタル面で休職する一番の理由が保護者対応の悩みとのこと。保護者とは、学校と一緒に子どもの教育を行っていきましょうと対話を繰り返している。よいコミュニケーションを取ってきたい。

委員 子ども達の意見もよく聞いて対応してもらいたい。

委員 特別支援対応について、児童数が減少すると通級学級がなくなるのか。

委員（小学校長） ことばの教室とLD等通級指導教室は、本校にとって、とても大切に貴重な学級である。存続するように働きかけていく。しかし、東山中学校にはLD等通級指導教室がない。LD等通級指導教室で学習している6年生が進学する際の小中学校連携の課題でもある。

委員 東山中学校では、どういう対応をしているのか。

委員 中学校では、学校サポーターをはじめ職員がフル稼働して対応している。

委員 中学校にもLD等通級指導教室を作ってほしい。

委員 いじめについて、机の上にゴミがあったり黒板に悪口が書いてあったりしたことがあると聞いている。学校は把握しているのか。

委員（小学校長） 把握している。改善に向けて取り組んでいるところである。いじめの解消については、少なくとも3か月間いじめの行為が止んでいる必要があり、経過観察中のものもある。

## (2) 諸調査の結果について

事務局より、全国学力・学習状況調査、岩手県学習状況調査、岩手県体力・運動能力調査についての本校の状況を説明した。配布資料は、一関市情報公開条例第7条第6号ウに該当するため非公開とする。以下、質疑応答等。

委員 算数の結果について、領域などの傾向はあるのか。

事務局 計算などはよいが、図形領域や文章問題などの思考力を問う問題が低い傾向にある。

委員（小学校長） 図形問題を取り入れた「計算道場」の取組もしている。

委員 体力向上について、数年前は校舎の工事で校庭が使えないこともあったが、今は十分使えているはず。先ほど参観した体育の授業では、ズボンが長くて裾をまくっている子もいた。服装などの指導も大切ではないか。

委員（小学校長） 運動面については、2極化である。

委員 中学校では、部活推奨制になりさらに2極化が進んでいる。運動部に所属する生徒が少なくなり、他校との合同チームを組んでいる種目もある。

委員 部活動に入らない子は、何をしているのか。

委員 地域クラブに所属して運動をしている生徒もいるし、特に所属せずに過ごしている生徒もいる。

委員（小学校長） 小学校では外遊びをよくしている。一輪車で遊ぶ児童も多いが遊具が古くなっており、どうにか修理して使っている。もっと台数を増やしたいが資金がない。旧花泉小学校の備品も見てきたがよいのがなかった。

委員 保育園でも一輪車で遊んでいる。

(3) 第2回PTA地区懇談会（兼 学校運営支援協議会懇談会）の開催について  
資料に基づき事務局より説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 各地区の地域協働体にも案内を出してはどうか。地域協働体は学校を支援したくても学校の事情を知らない。学校の事情が分かれば動きやすい。例えば、今年度行った東山中学校のガードレール清掃も、要請があったから地域協働体も協力することができた。

委員 地区懇談会では小グループを作るとあるが、地区別に分けるのか。以前は、地区懇談会も各地区で行っていた。また、各地区の協働体に案内を出すのはよいが、地域協働体にもそれぞれ部会があるので考慮して声掛けした方がよい。

委員 1年目の今年は地域コーディネーターとして、手探りしながらやってきた。地域ボランティアを紹介していただく件について、各地区の地域協働体には協力いただいた。

委員 東山町内の小学校が、東山小学校として1校に統合したので、松川地区、田河津地区では学校の様子を見ることがない。それぞれの地区に声を掛けてほしい。

委員 地域としても地域協働体としても、一つひとつの行事を通して学校に関わりをもっていった方がよい。

委員 松川地区でも学校の話はでない。学校からどんどん伝えていった方がよい。

(4) その他

委員（小学校長）来年度、一関市内の全ての小中学校で学校運営支援協議会制度が正式に始まる。東山小学校では昨年度から先行実施していたが、市内では、学校ごとに学校運営支援協議会を設置しているところと、中学校区ごとに小中学校合同で学校運営支援協議会を設置しているところがある。来年度は、東山小学校と東山中学校が合同で、学校運営支援協議会を設置したいと考えており、次回提案したいと思うがよろしいか。

委員 学校運営支援協議会の委員は、15名までと規約にあったと思う。現在、9名の委員で構成しているので、地域協働体の代表も委員に加えて小中学校合同で行ったらよいと思う。

委員 通学路の崩落箇所について、工事の見通しなどは立っているのか。

事務局 年度内に工事を終えたいという話もあるようだが、予算の関係もあり来年度になるかもしれない。児童の安全な登下校のため、冬季間だけスクールバスを利用できないか検討中である。

委員 スクールバスの利用については、中学生も同様に検討中である。

10 担当 一関市立東山小学校